

英語を楽しく集中体験

山武の
松尾高生

外国人とランチ作りも

山武市松尾町の県立松尾高校（斎藤伸之校長）で、英語を集中的に体験する通い合宿「スタディーランチ in 松尾高校」（同市主催）が19日行われ、生徒20人が参加した。

同事業は18、20日の3日間にわたり実施。外国人ら

を講師に楽しく英語に触れさせることで、国際社会に通用する人材を育成するのが狙い。

「作る」のコースでは、スペイン人でIT企業日本支社長のオリオール・エステベさん（42）が講師を務め、男女8人がイカの豚肉

詰めのランチ作りに挑戦した。食材の下ごしらえや調理器具の掃除などオリオールさんからの指示を受け、3年生の岩井美善さん（18）は「日本語も混じるのでだいたい分かる」と

話していた。このほか、ディズニーアニメソングの「歌う」と、パキスタンの女子高生による国連演説を題材とした「話す」も行われた。

同事業の企画、運営責任者、地域再生マネージャーの斎藤俊幸さん（58）は「生徒は良い反応で積極的に外国人と話している」と評価していた。

2014.
8.20
千葉日報



オリオールさん（左）の指導で昼食を作る生徒＝19日、山武市の県立松尾高校